

翻訳学習者による 英日翻訳方略の学習可能性

山本真佑花 山田優
立教大学

藤田篤
情報通信研究機構

翻訳方略

翻訳方略 = より良い訳文を産出するために行われるテキスト上の操作

There is a boy climbing that tree. He is going to fall if he doesn't take care.



「結束性を高めるために主語を削除する」という方略

あの木に登っている男の子がいます。~~彼は~~気をつけないと落ちてしまいそうです。

翻訳方略の体系化

個々の操作の範疇も、方略の全体像も整理されていなかった
近年、体系化が行われた (Chesterman, 2016) (山本ら, 2021)



英日翻訳方略体系（山本ら, 2021）

統語論的な変化を伴う方略		意味論的な変化を伴う方略		語用論的な変化を伴う方略	
G1	直訳	S2	反義語への変更	Pr9	原文の誤りや曖昧性の解消
G13	約物の変更	S4	視点の変更	Pr1	異化・同化
G9	モダリティの変更	S3	上位語・下位語への変更	Pr2	明示化・暗示化
G8	結束性に関する変更	S5	具体化・抽象化	Pr3	情報の追加・削除
G11	追加	S7	意味の焦点の変更	Pr4	対人関係に起因する変更
G12	削除	S6	分布の変更	Pr5	発話の種類の変更 (例) 命令文→疑問文、直接話法→間接話法
G3	単語構造の変更	S9	比喩表現の変更	Pr13	外部情報への適応
G5	句構造の変更	S8	言い換え	Pr12	分野への適応
G6	節構造の変更	S1	意味的な変更なし	Pr6	一貫性を持たせるための変更
G7	文構造の変更			Pr11	語用論的な変更なし
G4	言語単位の変更				
G2	語彙借用				
G10	レトリック表現の変更				

既存の翻訳方略体系の課題とその解決法

<課題>

既存の翻訳方略体系（山本ら, 2021）は、
翻訳作業に慣れている人（翻訳者や教員など）が使用できることしか確認できておらず、
受け手である翻訳学習者が使用できるかどうかはわかっていない

<解決法>

実際の翻訳学習者を対象とした実験を通じて、
翻訳学習者による翻訳方略体系の学習可能性を検証した
学習可能性 = 「理解」し「使用」できるかどうか

リサーチクエスチョン

方略体系を学ぶことによって翻訳学習者の翻訳の仕方は変化するか？

1. プレタスクとポストタスクで使われる方略がどのように異なるか？

学習可能性

2. 学生訳で用いられた方略はプロ訳で用いられた方略に近づくか？

方略体系の効果

実験内容

期間：2021年4月28日（水）～ 2021年6月15日（火）

対象：A大学在学中の大学3、4年生、51人

内容：プレタスク、自主学習、ポストタスク

形式：期間内の好きなタイミングでオンライン参加
（ただし、すべてのタスクを1週間以内に終わらせること）

使用した文書

DEMOCRACY NOW! の Amy's column より、

1. Civil Rights: From Sundance, to Selma, to South Carolina (118w)
2. "Free Speech vs. Surveillance in the Digital Age." By Amy Goodman (133w)
3. Hiroshima and Nagasaki, 69 Years Later (111w)
4. Give Thanks to the Workers and Food to the Hungry (155w)
5. At the U.N. Climate Summit, Youth Leads the Way (142w)
6. The Endless War in Afghanistan Just Got Longer (144w)

モデル訳用

プレタスク用

ポストタスク用

学生のタスク

素朴訳から適訳への書き換え（≠翻訳）

1週間以内に
終わらせる

1. プレタスク 2文書
→モデル訳（2文書）を参考にしながら課題文の書き換え
2. 教材を使用した自主学习（資料）
→翻訳方略について／翻訳方略の詳細説明
3. ポストタスク 2文書（※プレタスクとは異なる文書）
→モデル訳（2文書、**素朴訳と方略付き**）を参考にしながら課題文の書き換え

素朴訳

原文の語順をできるだけ変えず、
訳文で命題的・文法的な誤りがなく、原文の情報が過不足なく伝わる訳文

(原文) There is a boy climbing that tree. He is going to fall if he doesn't take care.

(素朴訳) あの木に登っている男の子がいます。 彼は気をつけないと落ちてしまいそうです。

(適訳) あの木に登っている男の子がいます。 彼は気をつけないと落ちてしまいそうです。

プロの翻訳者による方略適用事例の収集

学習者のタスクと同様に素朴から適訳への書き換え

- ・ 学習者のタスクとの相違点
 - ・ 翻訳方略体系に関する資料は提示しない
 - ・ 書き換えの理由を詳述に記載させる
- ・ 社内評価の高い翻訳者が担当
- ・ 6文書
 - ・ 2文書：学習者に対してモデル訳として提示
 - ・ 4文書：学習者のプレタスク、ポストタスクと同じ文書、学習者との比較用

分析内容

英日翻訳方略体系（山本ら, 2021）を用いて、
プロの書き換え訳と学生15名分の書き換え訳を、定量的・定性的に分析

<プレタスクとポストタスクの比較>

- ・プレタスクとポストタスクの各々における方略の分布

<プロ訳と学生訳の比較>

- ・プロ訳に対する学生の再現率

プレタスクとポストタスクの比較

～プレタスクとポストタスクで使われる方略が
どのように異なるか？～

G1, S8, Pr11の例

文法的な変更なし (G1)
意味的な言い換えを行う (S8)
語用論的な変更なし (Pr11)

例 1

(原文) “I hate war,” Koji Hosokawa told me as we stood next to the A-Bomb Dome in Hiroshima, Japan.

(素朴訳) 「私は戦争が嫌いです」、日本の広島にある原爆ドームの横に立って、細川浩史は私に言った。

(適訳) 「私は戦争を憎んでいる」、日本の広島にある原爆ドームの横に立って、細川浩史は私に言った。

例 2

(原文) Hundreds of thousands of civilians were killed—many instantly, and many more slowly from severe burns and what would come to be understood as radiation sickness.

(素朴訳) 何十万もの市民が死亡した—多くが即時に、さらに多くが重症熱傷や、後に放射線疾患と理解されることになるもので徐々に死亡した。

(適訳) 何十万もの市民が死亡した—多くが即時に、さらに多くが重症熱傷や、後に放射線疾患と理解されることになるものでゆっくりと死亡した。

G8, S1, Pr11の例

結束性を高めるために、
追加、削除、置き換え等の操作を行う (G8)
意味的な変更なし (S1)
語用論的な変更なし (Pr11)

(原文) Real Trump speaks, and tweets, his mind. Teleprompter Trump reads speeches prepared for him, delivered in a strained manner that has been likened to a hostage video.

(素朴訳) 本物のトランプは、自分の心の中を話し、ツイートする。テレプロンプター・トランプは、彼のために用意されたスピーチを読み上げ、人質のビデオに例えられるような緊張した様子で発信する。

(適訳) 本物のトランプは、自分の心の中を話し、ツイートする。それに対しテレプロンプター・トランプは、彼のために用意されたスピーチを読み上げ、人質のビデオに例えられるような緊張した様子で発信する。

G13, S1, Pr1の例

約物の変更を行う (G13)
意味的な変更なし (S1)
TD文化に合った変更を行う (Pr1)

(原文) We have two presidents in the United States: The “real Donald Trump” and “teleprompter Trump.”

(素朴訳) アメリカには2人の大統領がいる ：“本物のドナルド・トランプ”と“テレプロンプター・トランプ”。

(適訳) アメリカには2人の大統領がいる。「本物のドナルド・トランプ」と「テレプロンプター・トランプ」だ。

G7, S7, Pr11の例

節の順序を入れ替える (G7)
意味の焦点を変える (S7)
語用論的な変更なし (Pr11)

(原文) The TSA reports that more than three million people passed through U.S. airports last weekend, the highest number since mid-March.

(素朴訳) TSAは、先週末に、3月中旬以降で最も多い人数である300万人以上が米国の空港を通過したと報告した。

(適訳) TSAによると、先週末に300万以上の人が米国の空港を通過し、これは3月中旬以降で最も多い人数である。

結果

1. プレタスクとポストタスクで使われる方略がどのように異なるか？
 - 方略によって増えるものと減るものがある
 - 「G1, S1, Pr11」は減った

学習可能性

<考察>

- ・一部の方略は学習可能だった
- ・なにかしらの書き換えを行うようになった

プロ訳と学生訳の比較

～学生訳で用いられた方略は
プロ訳で用いられた方略に近づくか?～

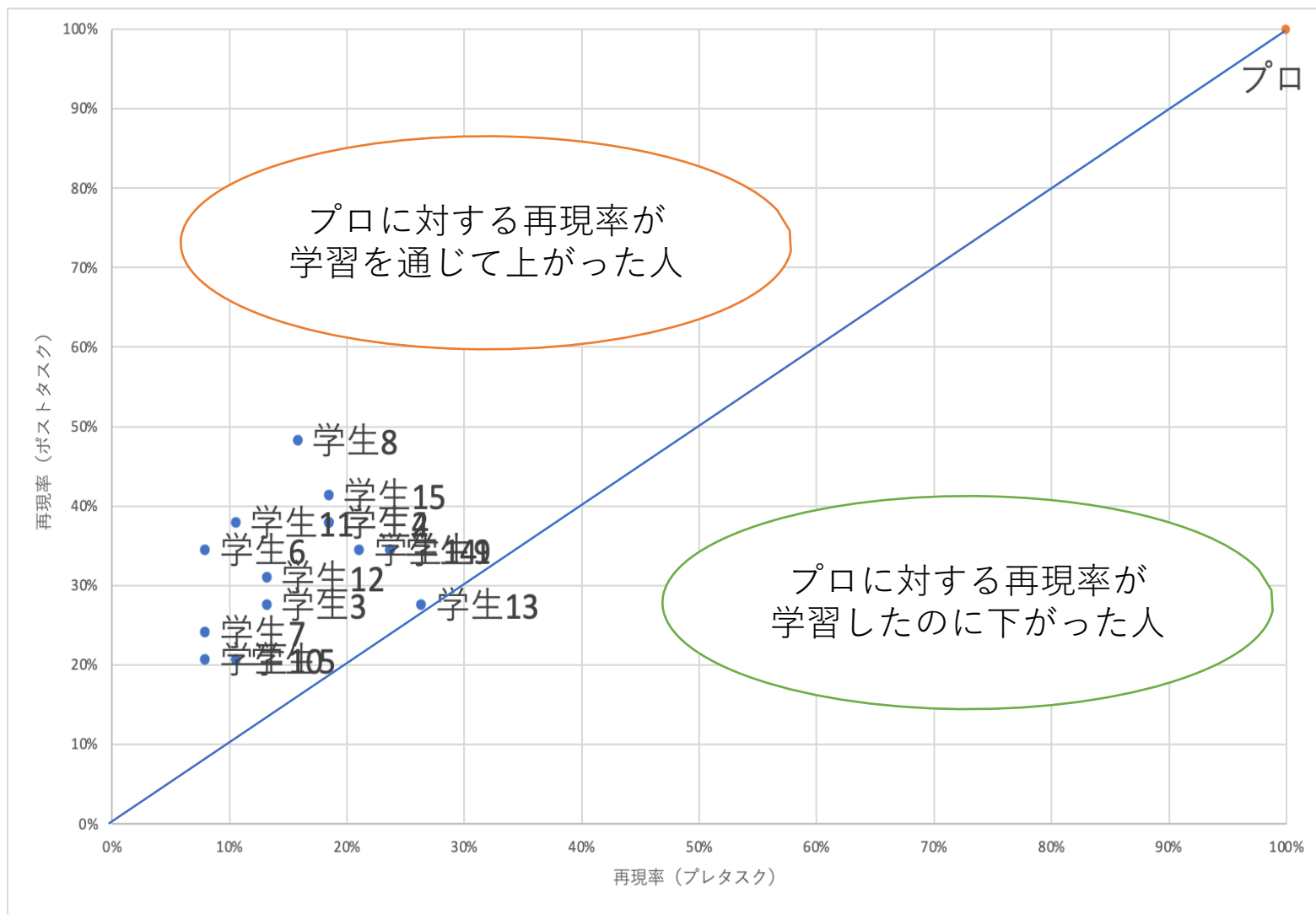
プロ訳で用いられた方略に近づくとは



書き換え数

	合計	プレ	ポスト
学生の総書き換え数	1368	712	655
プロと同じ書き換えを行った数 ※一言一句同じ場合のみを含む	233	89	144
学生のみが行った書き換え数 (うち誤り混入数)	1135 (139)	622 (81)	513 (58)

学生訳のプロ訳に対する再現率



G12, S1, Pr12の例

表層上の削除操作を行う (G12)
意味的な変更なし (S1)
分野や文書タイプに合った変更を行う (Pr11)

(原文) Give Thanks to the Workers and Food to the Hungry

(素朴訳) 労働者には感謝を与え、そして飢えた人には食べ物を与える

(適訳) 労働者には感謝を、飢えた人には食べ物を

※タイトルの場合

G4, S1, Pr11の例

原文と異なる単語・句・節・文等のユニットを
訳文で使用する (G4)
意味的な変更なし (S1)
語用論的な変更なし (Pr11)

(原文) Lines at COVID-19 testing sites grow, as the contagion spreads exponentially, with over one million infections per week.

(素朴訳) 感染が爆発的に広がり、COVID-19の検査場の行列は伸び、1週間に100万人以上の感染者が出ている。

(適訳) 感染が爆発的に広がり、COVID-19の検査場の行列は伸びている。1週間の感染者数は100万人を超えた。

G8, S5, Pr11の例

結束性を高めるために、
追加、削除、置き換え等の操作を行う (G8)
意味を具体化する (S5)
語用論的な変更なし (Pr11)

(原文) The building was one of the few left standing when the United States dropped the atomic bomb on Hiroshima at 8:15 a.m. on Aug. 6, 1945.

(素朴訳) その建物は、1945年8月6日午前8時15分にアメリカが広島に原子爆弾を投下したとき、そのまま残った数少ない建物の一つだった。

(適訳) 原爆ドームは1945年8月6日午前8時15分にアメリカが広島に原子爆弾を投下したとき、そのまま残った数少ない建物の一つだった。

学生のみが書き換えを行った事例

書き換え数

	合計	プレ	ポスト
学生の総書き換え数	1368	712	655
プロと同じ書き換えを行った数 ※一言一句同じ場合のみを含む	233	89	144
学生のみが行った書き換え数 (うち誤り混入数)	1135 (139)	622 (81)	513 (58)

G12, S1, Pr11の例

表層上の削除操作を行う (G12)
意味的な変更なし (S1)
語用論的な変更なし (Pr11)

(原文) “I hate war,” Koji Hosokawa told me as we stood next to the A-Bomb Dome in Hiroshima, Japan.

(素朴訳) 「私は戦争が嫌いです」、日本の広島にある原爆ドームの横に立って、細川浩史は私に言った。

(適訳) 「戦争が嫌いです」、広島にある原爆ドームの横に立って、細川浩史は言った。

G1, S7, Pr11の例

文法的な変更なし (G1)
意味を強調する (S7)
語用論的な変更なし (Pr11)

(原文) This, amidst an explosion in COVID-19 infections, hospitalizations, and deaths — morgues in some cities are overflowing — has public health officials pleading with people to stay home this Thanksgiving.

(素朴訳) これは、COVID-19の感染、入院、そして死亡の爆発の中—いくつかの都市の遺体安置所はあふれている—公衆衛生当局にこの感謝祭を家で過ごすように人々に呼びかけさせた。

(適訳) これは、COVID-19の感染、入院、そして死亡の爆発の中—いくつかの都市の遺体安置所はあふれかえっている—公衆衛生当局にこの感謝祭を家で過ごすように人々に呼びかけさせた。

G9, S7, Pr11の例

モダリティを変更する (G9)
意味を強調する (S7)
語用論的な変更なし (Pr11)

(原文) In suburban and rural America, lines of cars are miles long, as people suffering from hunger and food insecurity, many for the first time, wait hours for a box of groceries.

(素朴訳) アメリカの郊外や田舎では、車の列が何マイルもの長さで、飢えや食料不足に悩む人々は、多くは初めてで、1箱の食料品のために何時間も待つことになる。

(適訳) アメリカの郊外や田舎では、車の列は何マイルもの長さになっている。飢えや食料不足に悩む人々は、その多くは初めて、1箱の食料品のために何時間も待つことになるのだ。

誤り混入の例

例 1

(原文) Lines at COVID-19 testing sites grow, as the contagion spreads exponentially, with over one million infections per week.

(素朴訳) 感染が爆発的に広がり、COVID-19の検査場の行列は伸び、1週間に100万人以上の感染者が出ている。

(適訳) COVID-19の感染者が10万人以上となる爆発的な感染により、検査場の行列はさらに長くなる。

例 2

(原文) The TSA reports that more than three million people passed through U.S. airports last weekend, the highest number since mid-March.

(素朴訳) TSAは、先週末に、3月中旬以降で最も多い人数である300万人以上が米国の空港を通過したと報告した。

(適訳) 運輸保安局(TSA)は先週末、3月中旬以降最も最多となる300万人以上の人が米国の空港を通ったと報告した。

結果

2. 学生訳で用いられた方略はプロ訳で用いられた方略に近づくか？

方略体系の効果

→15名の学生全員、学習を通じてプロ訳に対する再現率が上がった

<考察>

- ・方略体系は、モデル訳に近い訳文を作成する作業に有効である

まとめ

実際の翻訳学習者を対象とした実験を通じて、
翻訳学習者による翻訳方略体系の学習可能性を検証した
学習可能性 = 「理解」し「使用」できるかどうか

方略体系を学ぶことによって翻訳学習者の翻訳の仕方は変化するか？

1. プレタスクとポストタスクで使われる方略がどのように異なるか？ **学習可能性**
→方略によって増えるものと減るものがある
2. 学生訳で用いられた方略はプロ訳で用いられた方略に近づくか？ **方略体系の効果**
→15名の学生全員、学習を通じてプロ訳に対する再現率が上がった

今後の課題

- 分析量増やすこと（51名中36名分は未分析）
- アンケート内容を分析
- 使用する文書の違い、被験者の違い、これまでの学習の有無の因子をふまえた分析